



## 慣れた作業も要注意。農作業事故を防ごう！

### 1 十勝の農作業事故の状況

十勝管内では、毎年500件前後の農作業事故が発生しています。負傷事故を原因別で見ると、農機事故が最も多いですが、次いで多いのが牛に関連した事故で全体の1/3を占めています（図1）。

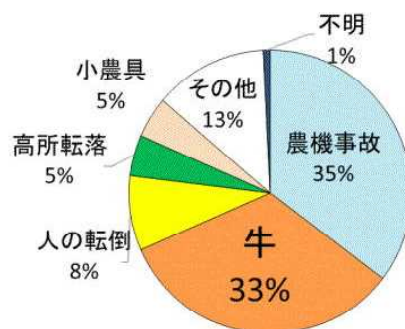


図1 農作業負傷事故の原因  
(十勝 H24～R3年度)

牛の事象例
搾乳中、牛の乳房を拭いていた時に、牛の後ろ足で右肘を蹴られ負傷
搾乳が終わり、ミルカーを外したところ、牛が倒れてきて柵との間に挟まれ負傷
牛舎で牛を移動させていた時に、急に牛が暴れ牛と牛舎のドアに挟まれ、胸を負傷
凍結した牛舎エプロン部で、牛に引っ張られて転倒し負傷

似たような経験  
ありませんか？

### 2 搾乳作業時の安全対策

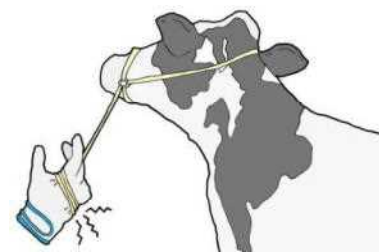
- ①牛の間に入る時は、牛に声をかけて触ってから入る  
(自分の存在を知らせる)
- ②牛が痛がらないように搾乳する（過搾乳で乳頭を痛めない、ミルカーを点検・整備しておく等）
- ③搾乳後、牛は横臥するので搾乳している牛だけでなく、隣の牛にも注意する
- ④安全長靴を着用



背後の牛にも気をつける

### 3 牛の移動時の安全対策

- ①牛舎の通路や水回りなど滑りやすい場所には、石灰等を散布したり、水はけを良くする
- ②牛が暴れている時は近づかず、落ち着くまで離れている
- ③無理な追い込みをしない
- ④発情時は、普段おとなしい牛も気が荒くなる場合があるので注意する
- ⑤牛の進行方向に立ち入らない
- ⑥牛が暴れた時に、逃げられる場所や体勢を確保



モキシやロープは、引っ張られることを想定し、手に巻かない

酪農は、毎日の作業で慣れも出てくるかも知れませんが、万が一事故が起きると本人が痛いだけでなく、日々の作業に支障が出たり、最悪の場合は営農中止に繋がることにもなります。家族や従業員等で声を掛け合って、農作業安全に取り組みしましょう。